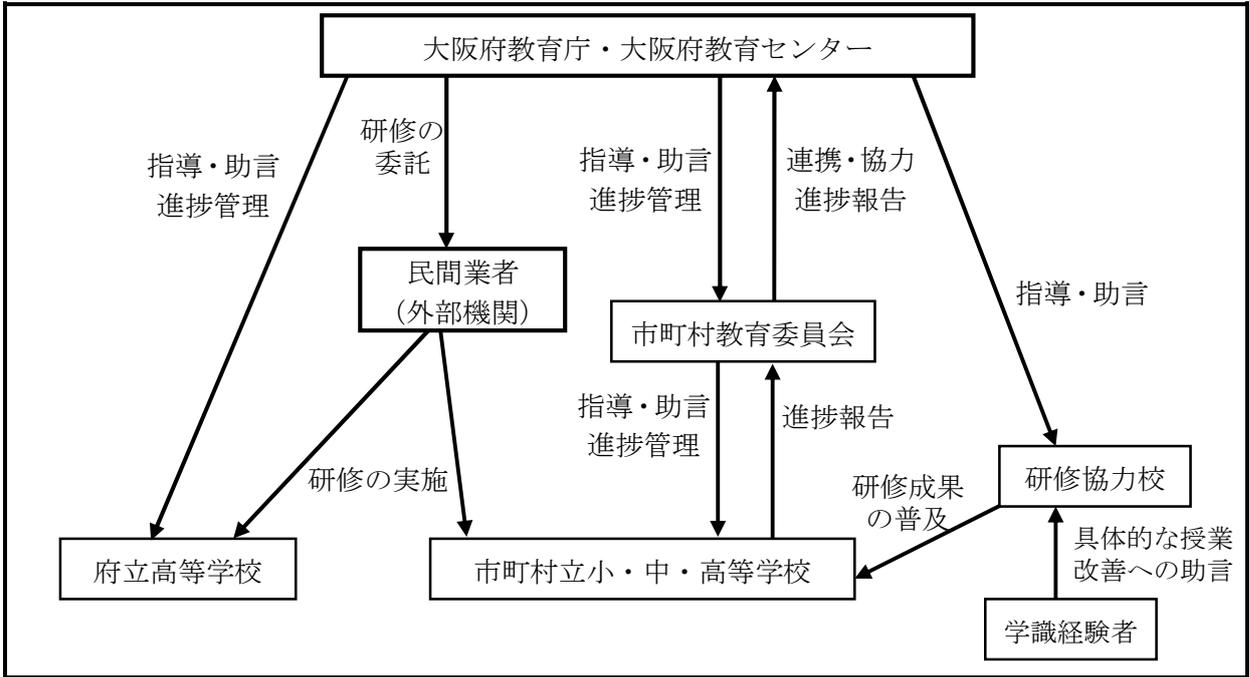


(様式3-2)

大阪府英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

I. 大阪府の現状

①求められる英語力を有する英語担当教員の全英語担当教員に占める割合

	H27 (政令市含む)	H28 (政令市含む)	H29 (政令市除く)
中学校	27.8%	29.2%	28.8%
高等学校	47.7%	60.7%	64.2%

②求められる英語力を有する生徒の全生徒に占める割合 (中3、高3)

	H27 (政令市含む)	H28 (政令市含む)	H29 (政令市除く)
中学校	28.9%	34.0%	39.5%
高等学校	31.2%	35.0%	38.2%

③「CAN-DO リスト」の形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況

- ・設定

	H27 (政令市含む)	H28 (政令市含む)	H29 (政令市除く)
中学校	30.2%	81.8%	100%
高等学校	8.5%	88.7%	100%

- ・公表

	H27 (政令市含む)	H28 (政令市含む)	H29 (政令市除く)
中学校	8.2%	21.9%	72.7%
高等学校	1.9%	22.2%	28.5%

- ・達成状況の把握

	H27 (政令市含む)	H28 (政令市含む)	H29 (政令市除く)
中学校	19.4%	39.3%	78.9%
高等学校	3.8%	35.8%	39.5%

④授業における、生徒の英語による言語活動時間の占める割合

	H27 (政令市含む)	H28 (政令市含む)	H29 (政令市除く)
中学校	48.7%	60.8%	77.2%
高等学校	35.5%	35.3%	46.9%

⑤「話すこと」及び「書くこと」における「外国語表現の能力」を評価するためのスピーキングテスト、ライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況

・スピーキングテスト

		H27(政令市含む)	H28(政令市含む)	H29(政令市除く)
中学校		9. 3回	8. 7回	10. 0回
高等学校	コミュニケーション英語Ⅰ	1. 2回	1. 8回	1. 8回
	コミュニケーション英語Ⅱ	0. 6回	0. 8回	1. 0回
	コミュニケーション英語Ⅲ	0. 1回	0. 5回	0. 3回
	英語表現Ⅰ	1. 1回	1. 3回	1. 5回
	英語表現Ⅱ	0. 9回	1. 0回	1. 2回

・ライティングテスト

		H27(政令市含む)	H28(政令市含む)	H29(政令市除く)
中学校		7. 7回	8. 1回	8. 9回
高等学校	コミュニケーション英語Ⅰ	0. 3回	0. 5回	0. 5回
	コミュニケーション英語Ⅱ	0. 2回	0. 3回	0. 5回
	コミュニケーション英語Ⅲ	0. 2回	0. 3回	0. 2回
	英語表現Ⅰ	0. 3回	0. 9回	1. 1回
	英語表現Ⅱ	0. 9回	1. 4回	1. 8回

⑥授業における、英語担当教員の英語使用状況

	H27(政令市含む)	H28(政令市含む)	H29(政令市除く)
中学校	33. 5%	47. 2%	77. 4%
高等学校	23. 5%	25. 1%	31. 2%

※平成30年度の各項目の目標（様式10 目標管理書参照）の達成に向けて、下記のようなてだてを講ずる。

Ⅱ. 目標達成までの具体的なてだて

Ⅱ-1 中学校

大阪府教育庁（以下、教育庁という）と市町村教育委員会（以下、市町村教委という）が連携して研修体制を構築することにより、府内中学校の英語の授業を改善し、生徒の英語力を着実に向上させる。

➤ 教育庁と市町村教委の連携による取組み

- ・前項Ⅰにある指標に基づき、市町村教委が目標を設定するとともに、目標を達成するための具体的な方策「英語教育改善計画」を作成する。教育庁は計画に基づき、市町村教委の進捗について確認・指導を行う。
- ・市町村教委は、英語教育を推進する教員（授業改善推進リーダー）を推薦し、教育庁主催の研修を受講させる。研修実施期間中は、研修受講者の授業参観をするなどして授業改善の進捗を把握する。必要に応じて指導・助言する。
- ・市町村教委主催の研修受講者による普及研修を実施し、所管の中学校の授業改善を進める。

➤ 民間業者と連携した「授業改善推進リーダー研修」の実施

- ・教育庁は民間業者に委託した年間5回の連続研修を実施し、生徒のスピーキング力向上のための教員の指導力を育成する。

➤ 「中学校英語コーディネーター」の活用

- ・学校数に応じ、各市町村1～2名の「中学校英語コーディネーター」（以下、コーディネーターという）を置く。コーディネーターは、平成28・29年度授業改善推進リーダーの中から選出する。
- ・コーディネーターは自身の授業を域内の英語担当教員に公開したり、域内の中学校を参観して授業者に助言したりするなどして、特に、授業中の発話の50%以上を英語で行っている教員の割合を100%にすることをめざす。

▶ 研修協力校の取組みの普及

- ・研修協力校の英語担当教員1名は、教育庁主催の授業改善推進リーダー研修を受講する。
- ・受講内容を校内で共有するとともに、学識経験者の助言を得て実践研究を行うなど、組織的に授業改善を推進するモデル校となる。
- ・授業公開を行い、校内での授業改善の取組みについて府内に発信する。

II-2 高等学校

高校生の英語4技能の中で最も改善が必要とされるスピーキング力を向上させるために、スピーキング教材とスピーキングテストの開発、またスピーキング指導を推進する教員育成を行い、全府立高校において授業改善を図る。

▶ スピーキング教材とスピーキングテストの開発

- ・教育庁は、CEFR-Jに基づいたスピーキング教材とスピーキングテストの開発を民間業者に委託し、成果物を全府立高校に提供する。

▶ 英語科教員研修の実施

- ・教育庁は、民間業者に委託した夏季集中研修を含む年間5回の連続研修を実施し、各校におけるスピーキング指導を推進する教員の育成を行う。
- ・受講者は、研修で学んだ内容を含んだ公開研究授業を実施するなどして自校での実践に生かし、各校での普及を図る。

(3) 研修の体系と内容の具体

1. 中学校

授業改善推進リーダー研修

目的 英語の4技能の内、特に生徒のスピーキング力を育成する教員の指導力の向上を図る。

対象 府内各市町村より推薦された英語担当教員（各市町村2名程度）及び英語教育担当指導主事（第1・5回のみ）

内容 全5回＋普及研修

第1回 研修受講者の目標設定と達成までのプロセス立案

第2回 スピーキング力を育成する授業実践と評価①（民間業者による研修）

第3回 スピーキング力を育成する授業実践と評価②（民間業者による研修）

第4回 スピーキング力を育成する授業実践と評価③（民間業者による研修）

第5回 研修後の授業分析、研修のまとめ、普及研修の立案

研修後 各市町村で、本研修受講者を講師とした普及研修を実施し、全中学校での授業改善をめざす。

2. 高等学校

(1) 英語科教員研修

目的 高校生の英語4技能の中で最も改善が必要とされるスピーキング力を向上させるために、スピーキング指導を推進する教員育成を行い、全府立高校において授業改善を図る。

対象 各校から推薦された英語担当教員

内容 全5回＋公開授業の実施

第1～5回 英語力を伸ばす授業実践（民間業者による夏季休業中の集中研修）

※各校での授業実践及び公開授業の実施

(2) 「TOEFL iBT」スコアアップセミナー

目 的 高度な英語力を有する教員や学識経験者を講師として招聘し、グローバル社会に通用する高度な英語によるコミュニケーション能力の育成に向けた4技能の統合的な指導法を学ぶ。

対 象 府の英語教育に関する指定を受けている高等学校の英語担当教員等

内 容 全5回

TOEFL iBT セクション別攻略法の習得、振り返りとまとめ

(3) エッセー・ライティング研修

目 的 生徒に高度な言語活動を通して論理的思考力を身につけさせるため、エッセー・ライティングの効果的な指導法、評価法を学ぶ。

対 象 府の英語教育に関する指定を受けている高等学校の英語担当教員等

内 容 全2回

エッセー・ライティングの基礎、効果的な指導法、評価法の習得

(4) ディベート研修

目 的 生徒に高度な言語活動を通して論理的思考力を身につけさせるため、ディベート実践のための効果的な指導法、評価法を学ぶ。

対 象 府の英語教育に関する指定を受けている高等学校の英語担当教員等

内 容 全3回

ディベートの基礎、効果的な指導法、採点方法の習得

(5) Practical English Teaching Seminar

目 的 応用言語学や英語教育学等の知見について理解し、教科書を用いて「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（やり取り、発表）」、「書くこと」の5つの領域にわたる生徒の総合的なコミュニケーション能力を育成するための授業の組み立て方、指導と評価の在り方について学ぶ。

対 象 府立高等学校（岸和田市立を含む）及び府立支援学校（高等部）の英語担当教員

内 容 全4回

3. 小学校

小学校英語教育実践リーダー研修

目 的 新学習指導要領において導入される小学校外国語教育の円滑な実施に資する研修を実施し、外国語指導に対する資質・能力の向上を図る。

対 象 小学校教員 ※3年間で全小学校から1名は受講することとする

内 容 全5回

新教材「We Can!」「Let's Try!」の活用方法を中心とした指導方法の習得、演習

(4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	○第1回市町村外国語教育担当指導主事学習会（英語教育について）	
5月	○市町村外国語教育担当指導主事会（英語教育改善計画の提出） ○市町村外国語教育担当指導主事学習会（英語教育について） ○中学校授業改善推進リーダー研修① ○小学校英語教育実践リーダー研修① ○高等学校 Practical English Teaching Seminar① ○高等学校ディベート研修① ○高等学校エッセー・ライティング研修①	
6月	○中学校授業改善推進リーダー研修② ○高等学校「TOEFL iBT」スコアアップセミナー① ○高等学校ディベート研修② ○高等学校エッセー・ライティング研修② ○高等学校「TOEFL iBT」スコアアップセミナー②	民間業者
7月	○小学校英語教育実践リーダー研修② ○高等学校 Practical English Teaching Seminar② ○高等学校英語教育推進リーダー養成研修①② ○第2回市町村外国語教育担当指導主事学習会（小学校外国語教育について）	
8月	○中学校授業改善推進リーダー研修③ ○高等学校英語教育推進リーダー養成研修③④⑤	民間業者
9月	○市町村英語教育担当指導主事会（英語教育改善計画の進捗交流） ○府教育庁による学校訪問（9～11月） ○高等学校「TOEFL iBT」スコアアップセミナー③ ○高等学校ディベート研修③	研修 各校での授業実践・普及 受講者による研究授業の実施
10月	○小学校英語教育実践リーダー研修③ ○高等学校「TOEFL iBT」スコアアップセミナー④ ○高等学校 Practical English Teaching Seminar③ ○第3回市町村外国語教育担当指導主事学習会（外国語教育について）	
11月	○中学校授業改善推進リーダー研修④ ○高等学校「TOEFL iBT」スコアアップセミナー⑤ ○研修協力校による公開研究授業	
12月	○高等学校 Practical English Teaching Seminar④	
1月	○中学校授業改善推進リーダー研修⑤	
2月	○小学校英語教育実践リーダー研修④ ○市町村英語教育担当指導主事会（英語教育改善計画の報告）	
3月	○小学校英語教育実践リーダー研修⑤	
【その他の取組】 ・小学校専科教員を生かした評価研究		

